

PCCE 12.5のCVPスマートライセンスの設定およびトラブルシューティング

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[PCCE 12.5用スマートライセンス](#)

[PCCE 12.5と統合された場合のCVP 12.5のスマートライセンス](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[証明書](#)

[トークン障害](#)

概要

このドキュメントでは、Packaged Contact Center Enterprise(PCCE)12.5およびCustomer Voice Portal(CVP)12.5でスマートライセンスを設定およびアップロードする方法について説明します。

前提条件

- PCCE 12.5
- CVP 12.5

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- PCCE 12.5
- CVP 12.5
- PCCE Single Pane of Glass(SPOG)

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- PCCE 12.5
- CVP 12.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してく

ださい。

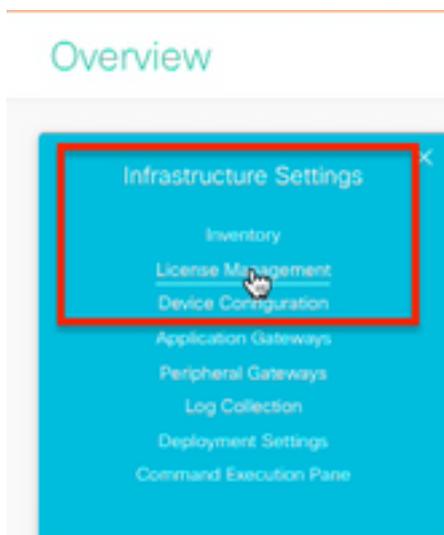
背景説明

Cisco Smart Software Licensingは、組織全体でシスコソフトウェアライセンスをアクティブ化および管理する方法を合理化する柔軟なソフトウェアライセンスモデルです。PCCE 12.5にはスマートライセンスが必要です。さらに、CVP 12.5がPCCE 12.5と統合されるときには、PCCE SPOG経由でアップロードされるスマートライセンスも必要です。

PCCE 12.5用スマートライセンス

PCCE 12.5でスマートライセンスを登録する手順：

1. SPOGにログインします。図に示すように、[Overview]で[Infrastructure Settings]を選択し、[Select License Management]を選択します。



2. この製品インスタンスがシスコと通信できることをトランスポート設定で確認します。このドキュメントでは、HTTP/HTTPSプロキシを使用します。適切な値が追加されていることを確認し、[Save]を選択します。



Transport Settings

Configure how the product instance will communicate with Cisco. Note that this setting is shared with Smart Call Home, so any changes made here will apply to other features using this service.

Direct - Product communicates directly with Cisco's Licensing servers

URL

Transport Gateway - Proxy Gateway via Transport Gateway or Cisco Smart Software Manager

URL

HTTP/HTTPS Proxy - Send data via intermediate HTTP or HTTPS proxy

Hostname / IP Address* Port*

Cancel Save

3.スマートアカウントのサブスクリプションに基づき、[ライセンスタイプ]の下の適切なオプションを選択してください。ドキュメント「Flex license」が選択されています。適切な選択を行い、[Save]を選択します。

Select License Type

Flex License Perpetual License

Cancel Save

4.登録には、トークンが必要です。この段階で、[Cisco Software Central\(CSU\)](#)にログインするためのスマートアカウントが必要です。

5. [スマートソフトウェアライセンス]を選択します。



License

Traditional Licensing

Generate and manage PAK-based and other device licenses, including demo licenses

Smart Software Licensing

Track and manage Smart Software Licenses.

Enterprise Agreements

Generate and manage licenses from Enterprise Agreements.

View My Consumption

View all my customers based on smart accounts

6. 「インベントリ」を選択し、次に適切な仮想アカウントを選択します。

Cisco Software Central > Smart Software Licensing

Smart Software Licensing

Alerts **Inventory** Convert to Smart Licensing | Reports | Preferences | On-Prem Accounts | Activity

Virtual Account: [Redacted]

General

Licenses

Product Instances

Event Log

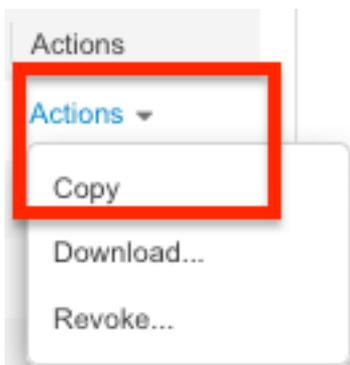
7. トークンを生成するには、[General]を選択します。次に、[New Token]を選択し、詳細を入力して[Create Token]を選択します。[Action]を選択し、[Copy]を選択して、トークンをコピーします。

The screenshot shows the 'Smart Software Licensing' interface with a 'Create Registration Token' dialog box open. The dialog box has a title bar 'Create Registration Token' and a close button. Below the title bar, there is a descriptive text: 'This will create a token that is used to register product instances, so that they can use licenses from this virtual account. Once it's created, go to the Smart Licensing configuration for your products and enter the token, to register them with this virtual account.'

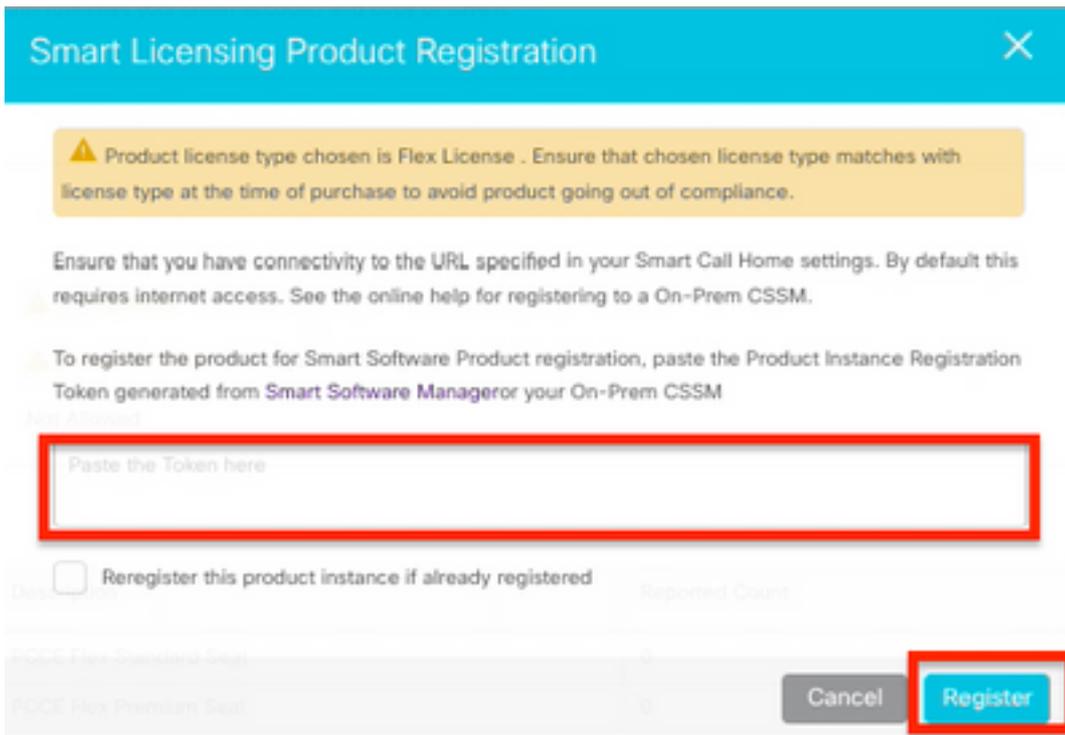
The dialog box contains the following fields and controls:

- Virtual Account:** A dropdown menu showing 'EFT_PCCE'.
- Description:** A text input field.
- Expires After:** A numeric input field with a unit of 'Days'. Below it, a note says 'Between 1 - 365, 30 days recommended'.
- Max. Number of Uses:** A numeric input field. Below it, a note says 'The token will be expired when either the expiration or the maximum uses is reached'.
- Allow expert controlled functionality on the products registered with this token:** A checked checkbox.
- Buttons:** 'Create Token' (highlighted in red) and 'Cancel'.

In the background, the 'General' tab is selected in the left sidebar, and a 'New Token...' button is also visible.



8. SPOG \ License Managementで、[Register]を選択し、[Smart Licensing Product Registration]にトークンを入力して[Register]を選択します。



9.登録ステータスが「登録済み」、ライセンス認証ステータスが「承認済み」であることに注意してください。

Smart Licensing Status

Registration Status: ✔ Registered

License Authorization Status: ✔ Authorized

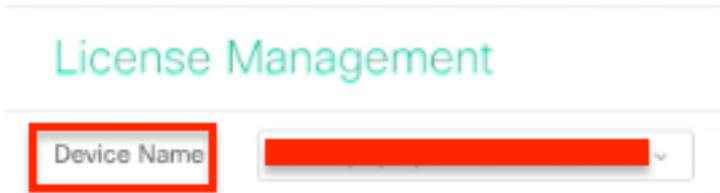
PCCE 12.5と統合された場合のCVP 12.5のスマートライセンス

PCCE 12.5を搭載したCVP 12.5には、Operation, Administration, Maintenance and Provisioning page(OAMP)がありません。バージョン12.5では、CVPのスマートライセンスもPCCE SPOGに登録されます。CVP 12.5スマートライセンスを登録する手順：

1. SPOG \ License Managementで、図に示すようにCVPを選択します。



2. [デバイス名]でCVPノードを選択します。



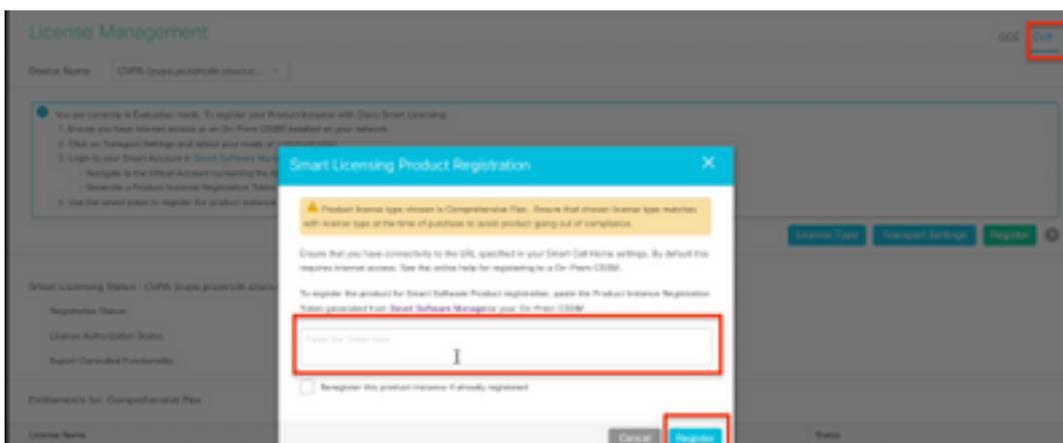
注：エラー「The requested page cannot be displayed. Contact the System Administrator if the problem persistent.」が表示された場合 AWの各CVPノードの証明書をアップロードしてください。自己署名証明書を使用する場合は、「[PCCEソリューションでの自己署名証明書の交換](#)」を参照してください。

3.この製品インスタンスがシスコと通信できることをトランスポート設定で確認します。このドキュメントでは、HTTP/HTTPSプロキシを使用します。適切な値が追加されていることを確認し、[Save]を選択します。

4.スマートアカウントの登録に基づいて、[License Type]が適切な選択に設定されていることを確認します。このドキュメントでは、「包括的なフレックス」オプションを使用します。

5. [Cisco Software Center](#)から生成されたトークンをコピーします。

6. SPOG \ License Management"CVP"で、[Register]を選択し、[Smart Licensing Product Registration]にトークンを入力して[Register]を選択します。



7. [Registration Status (登録ステータス)]が[Registered (登録済み)]、[License Authorization Status (ライセンス認証ステータス)]が[Authorized (承認済み)]であることに注意してください。

Smart Licensing Status : CVP XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

Registration Status: ✔ Registered

License Authorization Status: ✔ Authorized

確認

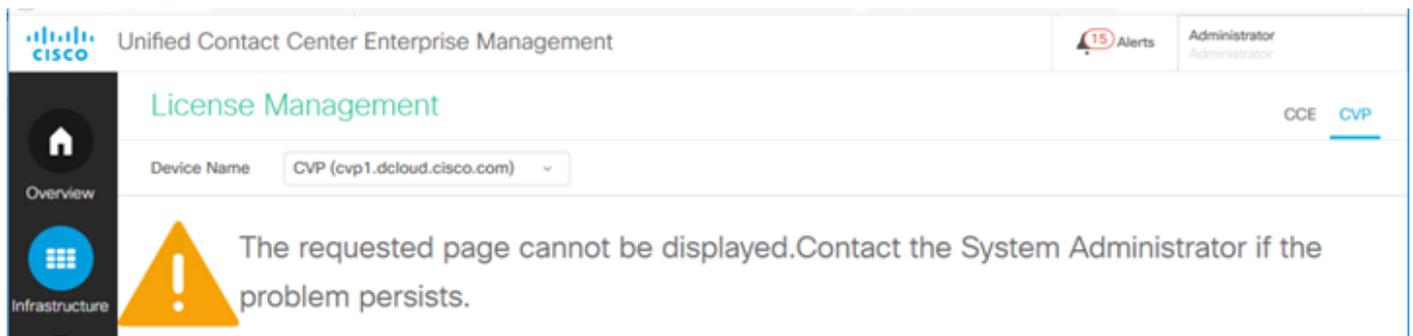
現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

スマートライセンスの登録が失敗するシナリオがいくつかあります。一般的なシナリオの一部と、それらのトラブルシューティング方法を次に示します。

証明書

上で指定したように、SPOGにログインし、SPOG \ License Managementで[CVP]を選択し、次にCVPノードを選択すると、図に示すように、このエラーが表示されます。



The screenshot shows the Cisco Unified Contact Center Enterprise Management interface. The page title is "License Management" and the device name is "CVP (cvp1.dcloud.cisco.com)". A yellow warning triangle icon is displayed with the message: "The requested page cannot be displayed. Contact the System Administrator if the problem persists." The interface also shows a navigation menu on the left with "Overview" and "Infrastructure" options, and a top right corner with "15 Alerts" and "Administrator" information.

これは、AWサーバとCVPサーバの間で自己署名証明書が交換されていないか、CA署名付き証明書が実装されていないことを示します。このドキュメントに従って、CA署名付き証明書 [PCCE CA署名付き証明書を実装する](#) か、自己署名証明書を使用する場合は、「[Exchange Self-Signed Certificates in a PCCE Solution](#)」を参照してください。

トークン障害

SPOG \ License Managementで[Register]を選択し、トークンを[Smart Licensing Product Registration]に入力して[Register]をクリックすると、次のエラーが表示されます。

エラーが発生しました

LcsClient#identityCert(Map)の実行エラー

これは、複数のライセンス登録が試行されたことによって、一部のライセンスエントリがブロックされたことを示します。ライセンスエントリをクリアする前に、問題を確認します。

ステップ 1 : C:\cisco\cvp\logs\wsm\に移動します

ステップ 2 : 最新のスマートライセンスログを開きます。 smartAgent.XXXX。ここで、XXXXは日付です

ステップ3: 「authorizationFailedReason=Data and signature do not match」を検索します。

ステップ4: ファイルに署名エラーが見つかった場合は、ライセンスエントリがブロックされており、クリアする必要があることを示します。

この問題を含むログファイルのスニペットを次に示します。

```
cvpSmartLicenseInfo:XXXXXXXXX.rest.bean.CvpSmartLicenseInfo@53413eed[smartLicenseInfoId=  
ライセンスエントリをクリアするには、次の手順を実行します。
```

注: これらの手順は、コールサーバおよびWSMサービスを停止する必要があるため、オフタイムの間に実行する必要があります。

ステップ1: C:\Cisco\CVP\conf\に移動し、.sltruststoreフォルダをバックアップします。

ステップ2: そのフォルダ内のファイルを削除します。

ステップ3: Call ServerおよびWSMサービスを開始します。

ステップ4: スマートライセンスをもう一度登録してみてください。